

2018年8月2日（木）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 41

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2018年7月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習「関連当事者情報2」
- 4 児玉厚の開示川柳「新開示 監査報告 長文化？」
- 5 編集後記

- 
- 1 会計ニュースダイジェスト（2018年7月）
- 

- 1) 東証、会計基準の選択に関する基本的な考え方の開示内容の分析結果及び独立社外取締役の選任状況等を公表（7月31日）

（「会計基準の選択に関する基本的な考え方」の開示内容の分析結果）

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/20180731-01.html>

（東証上場会社における独立社外取締役の選任状況、委員会の設置状況及び相談役・顧問等の開示状況）

[https://www.jpx.co.jp/news/1020/copy\\_of\\_20170726-01.html](https://www.jpx.co.jp/news/1020/copy_of_20170726-01.html)

- 2) 収益認識会計基準に対応して会社計算規則改正案公表（7月27日）  
（意見募集期限：2018年8月31日）

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=300080172&Mode=0>

- 3) 金融庁、平成30年7月豪雨被災企業の有報等提出期限を9月28日に延期  
（7月17日）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/shouken/20180717.html>

（参考）平成30年7月豪雨に関連する有価証券報告書等の提出期限に係る措置について（7月12日）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/shouken/20180712-2.html>

- 4) 企業会計審議会、監査基準を改訂（7月6日）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180706.html>

---

## 2 会計基準の公表予定等

---

- ・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。

### 1) IFRS (2018年12月までの公表予定)

(無印：確定 ED：公開草案 DP：ディスカッションペーパー  
PS：プロジェクト概要 FS：フィードバック文書)

#### (1) リサーチプロジェクト

- ・割引率：PS 2018年10～12月予定
- ・IFRS第13号「公正価値測定」適用後レビュー：FS 2018年10～12月予定
- ・株式に基づく報酬：PS 2018年9月予定

#### (2) メンテナンスプロジェクト

- ・契約が不利かどうかを評価する際に考慮されるコスト (IAS第37号改正)  
：ED 2018年10～12月予定
- ・事業の定義 (IFRS第3号改正)：2018年9月予定
- ・開示に関する取組み－重要性の定義 (IAS第1号・IAS第8号改正)  
：2018年10～12月予定
- ・IFRS第8号「事業セグメント」改善：FS 2018年10～12月予定

#### ・ワークプラン

<http://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

#### ・IASB Update

<http://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb-updates/>

### 2) 日本基準

#### (1) 金融商品：意見募集文書 2018年8月頃予定

- ・現在開発中の会計基準に関する今後の計画 (更新：2018年6月18日)  
<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

---

## 3 ワンポイント開示会計問題演習

---

\*メルマガ読者にのみ公開しています。

---

#### 4 児玉厚の開示川柳

---

\*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による  
「開示川柳」をお届けしております。

「 新開示 監査報告 長文化? 」

28歳の時、鉄鋼商社の経理を辞めたが当時は28歳未満の年齢制限があり、  
上場会社への再就職の道はなかった。

そこで公認会計士試験を受験することになった。

監査論の先生は当時専修大学の教授（現在、早稲田大学名誉教授）だった  
鳥羽至英先生だった。

実に切れ味の鋭い講義をしていた。

鳥羽先生

「みんな、何故監査報告書は定型的な適正意見と不適正意見の文面に  
なっているかわかるか？」

「監査報告書の内容を標準化し、比較可能性を保ち、いつもは同じ  
適正意見だが今回は違う（不適正意見又は限定付適正意見）と  
いうシグナルを投資家に伝える点にある。・・・」

鳥羽先生の説明に大きくうなづいた覚えがある。

あれから32年が経過した。

見慣れていた監査報告書が短文式から長文式へ大きく変わるようだ。

\*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

---

#### 5 編集後記

---

\*メルマガ読者にのみ公開しています。

---

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング  
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル7階  
URL：http://www.3cc.co.jp/

---

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.